

おじいちゃんとおばあちゃん。孫、ひ孫。

著者	岩永 喜久子
雑誌名	新潟日報 上越かわらばん
巻	1551
ページ	2-2
発行年	2015-12-06
URL	http://hdl.handle.net/10631/00001295

日本は、超高齢化と少子化の時代で、世界に類を見ない速さで高齢化が進んでいます。車窓から見る風景は、きつと田や畑だっただろうなと思われれる草木に覆

われた野山が

増えてきました。ちよつと前までは、孫やひ孫の周りにおじいちゃんやおばあちゃんがいて、うちの子だけでなく、近所の子供もうちの孫やひ孫とかわらない関係、そんな時代でした。

ところで、地域で暮ら

声などでもしつかり相手

が通い合うお話ができ

つくり出し自然に伝えら



「あのね」

ケーションは、育った時代が違っているおじいちゃんやおばあちゃんと、孫としてひ孫と繋いでくれない、教わりよれ、同時に人と人との関係性も自然に育み伝え、繋いでくれます。

を、おじいちゃんやおばあちゃんが増えています。孫やひ孫はそれほど増えませんが、今あるいい関係をさらに発

おじいちゃんとおばあちゃん。孫、ひ孫。

もコミュニケーションで

に伝えていきます。特に、伝え、孫はまた、自分の顔による印象と声による子供に伝え、孫やひ孫は印象は相手に与える印象おじいちゃんやおばあちゃんに伝えて循環しま

く、表情やしぐさ、視線、わせられることや、ここ伝わります。いい関係をに、言葉で伝えるだけでないです。相手と視線を合す。いい気持ちも一緒にとひ孫の関係、あちこち

第1日曜掲載